探見丸 FISH FINDER SET

取扱説明書

SHIMANO

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 北海道営業所 〒001-0925 札幌市北区新川5条1-3-50 TEL.(011)716-3301
株式会社シマノ 仙台営業所 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 TEL.(022)232-4775
株式会社シマノ 埼玉営業所 〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1 TEL.(048)772-6662
株式会社シマノ 東京営業所 〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03)3744-5656
株式会社シマノ 静岡営業所 〒410-0807 静岡県沼津市錦町674 TEL.(055)962-3983
株式会社シマノ 名古屋営業所 〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL.(052)331-8666
株式会社シマノ 大阪営業所 〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3-77 TEL.(072)223-3920
株式会社シマノ 中国営業所 〒700-0941 岡山市南区青江6-6-18 TEL.(086)264-6100
株式会社シマノ 四国営業所 〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL.(0875)23-2220
株式会社シマノ 九州営業所 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部 本社:〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地
●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合せ
フリーダイヤル 0120-861130(ハローイイサオ) フリーダイヤルをご利用できない方は 072-243-8538(有料) をご利用ください。
受付時間:AM9:00~12:00・PM1:00~5:00(土・日・祝日除く)
■シマノホームページ アドレスは http://www.shimano.com です。
新製品情報、釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。
また、カタログのお申し込みも受け付けています。

Printed in Japan (120724) 040

■仕様

品番			探見丸 FISH FINDER SET		
製品コード			5RK150000	商品コード	03037
探見丸 MINI PLAYS FISH FINDER VERSION	自重		85g		
	表示画面		2.4型カラーTFT		
	無線送信出力		1mW以下		
	消費電力		200mA以下		
	電池仕様	電池本体	リチウムイオンポリマー		
		公称容量/電圧	1350mAh/3.7V		
		使用環境温度範囲	-10℃~50℃		
	防水性能		IPX5		
探見丸 FISH FINDER	自重		160g		
	魚探周波数		200kHz		
	魚探出力		100mW以下		
	探知可能水深		70m※1		
	無線送信出力		3.6mW以下		
	消費電力		140mA以下		
	推奨電池		単三アルカリ電池		
	防水性能		1気圧		
通信方式			ZigBee(IEEE802.15.4規格)	通信速度	9600bps
受信周波数			2.4GHz	通信可能距離	50m※2
使用条件	使用温度範囲		-10℃~50℃	使用湿度範囲	93%以下(+40度)
標準付属品			ネックストラップ(子機用)、探見丸FF用係留ストラップ、保証書、取扱説明書 ※子機充電器は付属していません。充電器は携帯電話(FOMA、SoftBankタイプ)用が使用できます。		

●パーツリスト ① ② ③ ④

番号	部品名	番号	部品名
①	探見丸 MINI PLAYS FISH FINDER VERSION本体	③	探見丸FISH FINDER
②	ネックストラップ	④	探見丸FISH FINDER用係留ストラップ

※1:使用方法、その日の状況においては探知可能水深が浅くなる場合もあります。
※2:障害物等が入りますと通信可能距離は短くなります。
※製品内容については予告なく変更する場合があります。

お取り扱い上の注意/商品のお問い合せ・アフターサービスのご案内

探見丸FISH FINDER SETは、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。また、釣行後の手入れを十分行ない、末永くご使用ください。

■探見丸 MINI PLAYS のお手入れ方法

1. コネクターキャップを閉め、水道水を探見丸子機にかけながら、柔らかい布か、スポンジで汚れを落とします。

※絶対に水中に浸けて洗わないでください。また、液晶面などを硬いものでこすると傷がつきます。探見丸FF(振動子)はご使用後乾いた布で拭き、陰干ししてよく乾燥させ保管してください。

●両製品とも絶対に分解しないでください。内部には電子部品が入っていますので故障の原因となります。
●高温、高湿の状態で長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

■安全にお使い頂くために

●探見丸子機の防水規格は JIS C0920 5級 防噴流形(IEC:IPX5)「いかなる方向からの直接噴流によっても有害な影響を受けない」ですが、水中への浸漬に対する保護機能はありませんのでご注意ください。
●探見丸FF(振動子)は10m防水ですが水中に長時間沈めたままにしないでください。水圧での変形、故障の原因となります。又、テトラポット等障害物の近くで使用しないでください。障害物にぶつかり故障の原因となります。
●お使いになる人や他の人への危害及び財産への障害を未然に防止するため、本取扱説明書や外箱に表示された内容は必ずお守りください。本文中、及び外箱のマークの意味は次のようになっています。

《表示の説明》

危険 この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

警告 この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意 この表示は「人が損害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

■ご使用上の注意 ご使用前に必ずお読みください。

危険

●探見丸子機を火中に投入したり、加熱しないでください。バッテリーパックが破裂し、火災、爆発させる原因となります。
●直射日光に当たる場所、炎天下の自動車内など50度を超える場所に放置しないでください。
●火気、ストーブ類、高温の近くで使用したり、又、放置しないでください。
●釘を打ち付けたり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
●万一、バッテリーセルが裂けても内容物に直接触れないでください。

警告

●ケースは絶対開けないでください。感電の原因になります。故障の場合は、お買い上げ先へ連絡してください。
●分解・改造等は絶対しないでください。火災、感電、ケガの原因になります。
●充電中に発煙、発火が見られた場合はただちに充電ケーブルを外してください。火災、感電の原因になります。
●充電は規定のものを使用してください。規定外のものを使った場合、重大な事故や火災を引き起こす原因になります。
●液晶部のレンズ内側に水滴の付着や曇りが見られた場合は、使用を止めて修理に出してください。防水機構が壊れています。
●探見丸FISH FINDER SET以外の用途に使用すると、バッテリーの破裂、火災、爆発させる原因となるおそれがあります。
●衝撃を与えたり、放り投げたりしないでください。
●探見丸FF(振動子)の電池ボックス内に水が溜まると漏電、電解腐蝕の原因となり機能に影響を与えます。水が入っている場合はすぐさま電池を抜き取りふき取ってください。
●目立った損傷、変形、ゆがみがある状態では使用しないでください。
●探見丸子機は水洗いが可能ですが、水や海水に浸さないようにご注意ください。
●涼しくて乾燥したところで保管してください。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

●お手入れに当たっては、シンナー・ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤や洗剤を使用しないでください。有機溶剤や洗剤がケースに接触すると、ケースの割れや変形、クラックを起こし故障の原因になることがあります。
●バッテリーには寿命があります。寿命のきたものをそのまま捨てたり、他のゴミと一緒に廃棄されますと、火災、爆発の恐れがあります。注意してください。
●使用済みのバッテリーはリサイクルします。そのまま廃棄せず当社の営業所、またはお買い上げの販売店にご持参ください。

■電池について 探見丸FF(振動子)

●探見丸FF(振動子)指定以外の電池を使わないでください。
●新旧・異種電池の混用はお止めください。液漏れ・破裂・発熱・発火の原因となります。
●電池の極性(+と−)を逆に入れないでください。
●火の中への投入、加熱、+と−極間のショートをしないでください。
●電池の液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明や目に障害を発生する恐れがあります。

注意

●探見丸子機を長期保管する場合は釣行後メモリ2~3個目点灯状態で保管してください。
●探見丸子機はリチウム電池を使っています。リチウム電池の性格上、性能が劣化することがありますので満充電での保管は避けてください。又、完全に電池が無くなった状態で長期保管されますと、電池が破損したり電池寿命に影響いたします。
●電池フタ、コネクターキャップは必ず閉めてご使用ください。閉めずにご使用になられると機器内に浸水し故障・破損の原因となります。お客様の不注意による内部への浸水は保証対象となりません。
●機器内と外部温度に温度差があった場合に稀に液晶画面に結露が起こることが有ります。この場合は数分経過すると消えます。
●インジケーターでバッテリーの残量をご確認ください。
●乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、充電や電池交換する場合も乳幼児が手を触れないように注意してください。
●小児が使用する場合は、保護者の方が正しい使用方法を十分に教えてください。また、使用の途中においても、取扱説明書の通りに使用しているかどうか注意してください。
●新品の電池、満充電されたバッテリーでも、寒いところで使用する場合は、バッテリーの使用できる時間が短くなります。
●探見丸子機の防水規格は JIS C0920 5級 防噴流形(IEC:IPX5)「いかなる方向からの直接噴流によっても有害な影響を受けない」ですが、水中への浸漬に対する保護機能はありませんのでご注意ください。
●液晶面に力を加えると、防水機能が低下し、故障の原因となることがあります。液晶面には力を加えないでください。
●探見丸子機のコネクター部分に衝撃を与えないよう、ご注意ください。また、充電器のケーブルが差し込まれている時には、ケーブルを無理やり折り曲げたり、力を加えない様にしてください。
●液晶部の表面は傷が付きやすいので、画面をふくときは十分に注意してください。
●探見丸子機のお手入れは、水道水をかけながら、柔らかい布かスポンジで汚れを落としてください。又、絶対に水中に浸けて洗わないでください。くれぐれも水道水以外での洗浄はしないでください。
●コネクターキャップを抜いた状態で、電池フタを開けた状態でコネクター部分に水を掛けて洗浄しないでください。浸水する可能性があります。

■電池について 探見丸FF(振動子)

●長時間使用しない場合は、必ず本体から電池を取り出して保管してください。
●使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの原因となります。
●電池を保管・捨てる場合は、接点部分にテープを貼る等の絶縁を行ってください。
●アルカリ電池を推奨します。マンガン電池ですと使用時間は半分程度となります。
●Ni水素電池時の充電電池を使用した場合は電池残量マークは正確に表示されません。
●電池マークは目安としてご覧ください。

■その他のご注意

●探見丸FISH FINDER SETは魚群探知機です。振動子の探知性能以上の水深、泡切れ等で魚探映像が出ない、鮮明に映らない場合もあります。
●探見丸FF(振動子)が水中に沈むと信号が届かなくなります。
●探見丸子機は無線電波を受けているため金属の箱などに入れると受信できなくなります。電波法に基づき開発された商品です。
●偏光サングラスの種類によっては液晶画面が見えにくくなる場合もあります。
●探見丸FISH FINDER SETは高機能の電子部品で構成されています。使用時の放り投げ等の行為は絶対にお止めください。ご使用後はバッグにそのまま放置されたり濡れた状態のまま高温で保存しないでください。機器の破損、塗装にも悪影響を及ぼします。絶対にお止めください。ご使用後は風通しの良い所で保存してください。

●電池の寿命について

リチウム電池は寿命があります。充放電回数は、約300~500回程度です。

●使用条件にもよりますが、画面輝度を「明るい」でご使用され続けますと約5時間程度の使用時間となります。使用時間を延ばすコツとして、「画面輝度」を「普通」もしくは「暗い」で使う、又は「省電力」を「ON」にし、魚群アラームの「感度選択」を「中」、「弱」で使っていただけると更に使用時間が延びます。

●探見丸FISH FINDER SETは第二世代小電力データ通信システムです。

2.4GHz帯使用機器	変調方式:DS-SS
2.4DS2	想定干渉距離:≦20m
	周波数変更可否:可

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を中止したうえ、弊社にご連絡頂き、混信回避のための処置等についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、弊社へご連絡ください。

●液晶パネルについて

液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上が有効画素ですが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が存在します。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

●船釣でのご注意

船長の指示棚は絶対に守りましょう!! 画面上に指示棚以外にも反応が映っているからといって、勝手に大きく棚を変えるのはルール違反です。船長の指示棚は、長年の経験から導きだした、その場の状況に応じた最適な情報なのです。自分勝手に大きく棚を変えると、他の釣客とのオマツリや魚を散らす原因になるなど、トラブルの元です。絶対にやめましょう!!

■商品のお問い合せ・アフターサービスのご案内

●**探見丸FISH FINDER SETのメカニズムの説明には、書面で表しにくいことがあります。手紙での問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。**
●修理に出される時は保証書と製品をお持ちになり、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に(例/電源が入らない)お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合せください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
●探見丸子機内蔵のバッテリーは交換できません。
●探見丸FISH FINDER SETの補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。
●商品コード/製品コードの位置

取扱説明書、パッケージ側面部に記しています。(右図)

取扱説明書
パッケージ側面部

探見丸 FISH FINDER（フィッシュファインダー）について

この製品は一般的な魚探と異なり振動子（探見丸 FISH FINDER：※1）と子機（探見丸 MINIPLAYS FISH FINDER VERSION：※2）が切り離され無線にて通信することにより手元のポイント、遠くのポイントの情報を得ることができます。又、このセットに入っております子機（※2）は船録で魚探が見ることができる探見丸の子機としても単体で使えます。探見丸親機の搭載されている船をご確認のうえご利用ください。

※釣りにご使用になられる前に確認してください

振動子にはそれぞれ固有のアドレスがあります。本来ならば子機でご自分の振動子のアドレスを選択していただく必要があるのですが、セット販売の子機にはペアとなる振動子のアドレスが分かっている為、予め子機にアドレスが入力されており、お互いに電源が入ると自動で接続できるようになっております。実際の釣行に使われる前に振動子を水に浮かべ通信が出来るかご確認ください。

探見丸システムについて

親機からの魚探映像を無線でキャッチ。船べりで魚探が見える!

あらかじめ遊漁船に設置された親機魚探からの情報を探見丸がキャッチ。釣座に居ながらにして魚探の映像を見ることができる、画期的なシステムです。

〔探見丸対応遊漁船につきましては、弊社ホームページ、パンフレット等をご覧ください。〕

※ご注意：探見丸に映る映像はご自身の位置ではなく、親機送受波器の位置映像です。

さらに探見丸システム対応電動リールと組み合わせることで双方向に通信が可能となり、使い勝手が広がります。

1. **電動リールの操作が探見丸で可能に**［さそい、棚停止、オートシャクリ etc.］
2. **電動リールからのデータを探見丸で表示**［リール水深、棚タイマー etc.］
3. **双方のデータを組み合わせてより便利な情報を表示**［シカケ軌跡、さそい幅 etc.］

※電動リールの機種によって使える機能は異なります。

ご乗船される船名の選択

※釣りにご使用になられる前に、必ず行ってください

釣りにご使用になられる前に、必ずお乗りになる船名を選択してください。選択されませんと探見丸はご使用になれません。

※ご注意
遊漁船の親機がONになっていない場合や、電波が届かない場所（ご自宅など）では、船名の選択画面に船名が表示されません。

電動リールとの通信方法

電源ケーブルに無線通信モジュールが内蔵された、［スーパーコードZB25］を電動リールにセットするだけで、探見丸子機と無線通信可能になります。

※ケーブルは別途お買い求めください。
※電動リールに無線通信モジュールが内蔵されているZBシリーズはリール単体で探見丸子機と無線通信できます。

各部の名称／機能

■探見丸 FISH FINDER（振動子）

※説明文中では探見丸 FF と略します。

（水に反応して電源がONとなります）
（スイッチ部分に水が無くなり1分程度すれば自動でOFFとなります）

■探見丸 MINI-PLAYS　FISH FINDER VERSION（子機）

※説明文中では探見丸子機とします。

ボタンの操作方法

《電源のON/OFF》
ボタン**A**を3秒以上長押しして頂くとON/OFFとなります。
※購入後初回起動時には時計の設定画面へ移動します。また、初期化の際も同じです。

《メインメニュー画面表示》 ボタン**B**を押してください。

《レンジ切り替え》探見丸（船）のみ

- **レンジの表示を浅くしたい場合**…ボタン**D**を押すごとにレンジが浅く切り替わります。
- **元のレンジ表示に戻すには**…ボタン**D**を長押し（2秒）してください。

※15秒間ボタン操作が行われなかった場合
魚探画面で15秒間ボタン操作が行われなかった場合に省電力モードが機能し、自動的に画面の表示を暗くして、電力の消費を節約します。各種通信はそのまま継続され、ボタン操作か魚群アラームの反応に連動して画面の表示がONになります。省電力モードは設定メニューからON/OFFが可能です。

充電について

充電器の適合機種は右記の通りです。

※子機の電源を必ずOFFにしてから充電してください。充電中は、画面に「充電中」と表示されます。満充電になりましたら、自動で表示画面が消えます。
※標準充電時間は約8時間です。使用（放電）状態により充電時間が異なります。

適合機種 適合機種確認日・2011年2月現在

下図タイプの接続端子に接続できる充電器は接続することができます。
又、図の接続端子は「docomo-FOMA」、「SoftBank-3G」と同形状です。

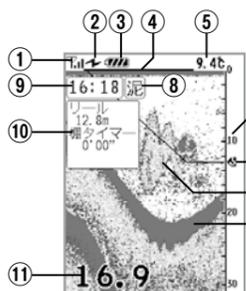
接続端子図

※一部コネクター接続端子の形状が異なる機種ではご使用になれません。

■ご注意

- 携帯電話用簡易充電器で単三電池、リチウムバッテリー等が使われている機種も、上記端子形状が同一ですと接続できます。しかし、それらの機種で探見丸子機を充電されますと、ある程度の充電と画面表示はできますが満充電にはなりません。また、接続しながらの使用はおやめください。コネクター部から浸水の恐れがあります。
- 周囲温度が＋40℃以上での充電は止めてください。バッテリーの性能劣化が起こります。必ず涼しい所で充電してください。
- 充電器や本体に異常な発熱や発煙があった場合は直ちに充電を止めて、機器を外してください。

※記載の商標及び商品名は各社の商標及び登録商標です。
※汎用品の充電器をご使用の際には、その製品のご使用方法、注意事項を熟読のうえ、正しく使用してください。
※ご使用に際して、各種メモリー内容に関する損害などの補償は責任を負いかねますので、ご了承のうえご使用ください。

探見丸 FISH FINDERについて

①**電波受信感度**
探見丸FFとの受信感度を表示しています。探見丸（船）でご使用される場合は船に搭載している親機との受信感度となります。

②**リールとの電波受信状況**
探見丸（船）でご使用される場合に通信モジュールを搭載したリールもしくはケーブルとの受信状況を表示します。マークが出ている時は受信OKです。

③**子機電池残量**

④**分時マーク**
時間経過を表示しています。バー1本で30秒です。その後の空白で30秒です。

⑤**水温**

⑥**レンジ(m)。**水深です。

⑦**仕掛けの位置**
探見丸（船）で電動リールと通信した際に仕掛けの位置が表示されます。

⑧**底質**

⑨**時計**

⑩**探見丸（船）で電動リールと通信した際に表示されるリールの糸送り量と仕掛けを水中に入れてからの時間です。**

⑪**水深**
画面右端が最新情報となります。その右端部分での水深です。

⑫**反応**
魚の反応です。子機の種類により表示できる色数は違いますが赤系が強い反応、黄色系が中間、青系が弱い反応となります。

⑬**底**
赤く反応し、帯状になっている部分が底です。

機能のメニューマップ

メインメニュー それぞれのメニューマップをご覧ください。

用途選択	
探見丸FF	→ ①へ
探見丸（船）	→ ②へ

①探見丸FFメニュー

メニュー	
魚探	→ Ⓐへ
設定	→ Ⓑへ
ヘルプ	→ Ⓒへ

②探見丸（船）メニュー

メニュー	
探見丸	→ Ⓓへ
設定	→ Ⓔへ
ヘルプ	→ Ⓕへ
アキュフィッシュ	→ Ⓖへ

「用途選択」の画面は電源をONにした時にしか表示されません。
用途選択を間違った場合は一度電源をOFFにし再度電源をONしてください。

※クリアーな魚探映像を得る為のワンポイント「魚探感度は低く、振動子出力は高く」がポイント。
ご使用になる水深で底が識別できる極力低い感度設定を調整します。
次に振動子出力をUPさせ納得できる反応が出るように調整しましょう。
魚探感度が高すぎると魚探画面にノイズが多くなり、結果干渉除去等を行ってしまいせっかくの反応も小さくなってしまう事になります。